

授業概要

この講義では、英語の文法の領域の中から特に「授業計画」にある項目について講義する。扱う項目は、文法において英語を理解するうえで必須のものから、議論を要するものまで様々である。考察にあたっては、歴史的な視点も考慮に入れていきたい。

授業計画

第 1 回	イントロダクション：授業の概要、成績の評価方法などの説明
第 2 回	品詞（名詞、形容詞、動詞、副詞など）：基本的な用法
第 3 回	品詞（名詞、形容詞、動詞、副詞など）：練習問題による復習
第 4 回	相当語句：概論
第 5 回	名詞相当語句と形容詞相当語句
第 6 回	副詞相当語句
第 7 回	of 属格と s 属格
第 8 回	接続詞 that
第 9 回	格と性：歴史的な観点から
第 10 回	格と性：定冠詞 (the)、疑問詞 (what, whose, whom, why) など
第 11 回	現在完了：基本的用法とその起源
第 12 回	叙想法（仮定法）：基本的用法
第 13 回	叙想法（仮定法）：その概念と歴史的な起源
第 14 回	叙想法（仮定法）：様々な使用例
第 15 回	講義の総括
第 16 回	定期試験（筆記試験）

到達目標

現代英語の文法に関する諸問題を歴史的な視点も含めて考察し、文法に関する知見を深めることができる。

履修上の注意

この講義は英語の文法に関わることであるが、英文法を網羅的に隅から隅まで暗記する種の授業ではない。言語、特に文法に興味がある方ならば受講を歓迎する。英語には極力和訳を添えることにする。

予習・復習

配布するプリントには単元ごとに理解度をはかるチェック・ポイントを載せている。毎回授業の 1 週間前にハンドアウトを配布するので、それをあらかじめ読んで授業に臨んでいただきたい。授業後は、もう一度授業の内容を確認し、チェック・ポイントを解いて自分の理解度を確認すること。新しい概念、専門用語がよく出てくるため、それらを理解し、吸収するために予習・復習は毎回行うこと。

評価方法

課題（40%）、定期試験（60%）で評価する。定期試験の問題は、授業中に受講者に配布するプリントにあらかじめ提示した問題の中から出題する。詳細については初回の授業で説明する。

テキスト

教科書は使用しない。ハンドアウトを配布する。適宜、参考書を紹介する。